

180330 名古屋城全体整備検討会議（名古屋市民オンブズマンによるメモ）

10：00

整備室長岩本：司会

西野所長：今年度押し迫っている中で開いた

年度末 整備事業まとめ

石垣・庭園・本丸御殿・天守閣

昨日金シャチ横町

障壁画収納施設 1月から着工

保存活用計画 最終的にご意見を賜りたい

岩本室長：出席者紹介

報道はこれまで

資料の確認 1-9

瀬口：進行

本丸御殿

住宅都市局営繕課：工事状況説明

※工程表（2ページ） 傍聴者に配布されず

建築装飾ワーキング

10：12

名古屋城総合事務所：観覧ルート

10：15

瀬口：質問は

三浦：黒木書院 色を付けないのか

営繕課：付けない

三浦：黒光りしている

染め付け・色つけ 塗ってあったのではないか

菅繕課：松の木 黒木になる

三浦：3種類 皮付き丸太

松

色つき

古田織部の上

色つけではないか

上洛殿の柱の色とは違う

菅繕課：現在は白木のまま

三浦：色つけ 確認できたら復元する可能性は

菅繕課：現在はお答えできない

三浦：了解した

瀬口：史実に忠実に進めて欲しい

御殿のまわり路盤工 人が歩けるように

南側から？北側から？

名古屋城：南側から見る

瀬口：庭とクロスしないか？

名古屋城：御庭の意見

南側の庭は検討する

復元できるものであれば復元する

瀬口：金具 他修復に勝る検討と思う

勝るとも劣らない

6月公開に向けて順調に進めて欲しい

次 石垣部会検討状況

10：22

名古屋城 こうろ：29年度 本丸搦め手石垣の施行

施行状況写真

杭打設

写真 2 捨て石

次年度以降積み直し

名古屋城：天守台石垣 発掘調査

石材調査を進めている

発掘調査目的、調査所見まとめ

根石の安定性 調査区内根石・石垣 変状は認められない

宝暦期・築城期境界を確認

土層 南北・東西

石垣部会に現地確認してもらった

3 月末までの調査期間内で調査した

発掘結果は次年度とりまとめする

10 : 29

瀬口：ご意見は？

麓：A 3 版裏表 N 区南縁 堀底グレーより上に根石がある

根石の下には何がある？

名古屋城：瓦 後世の土層

根石 積み直しがされているのか、築城時か判断できず

盛り土は築城時ではないかと考えている

麓：築城時盛り土 堀より上にある

根石の上に盛り土 堀底の盛り土にするのは考えにくい

名古屋城：後世に掘る可能性

麓：そんなことするのか？

名古屋城：慎重に検討したい

赤羽：今回 3/6 委員会資料

それに対して石垣部会がコメントをした

それが出ていない わからない点  
今年度の調査 終了している訳ではないと認識  
麓先生 地山と盛り土 層状 他のトレンチも整合的でない  
理由として後世の掘削があったのではないか  
もしそうなら石垣に影響がない範囲で確認する必要がある  
現状変更内か、新たに現状変更を取るか  
市には、これから石垣部会の指摘を受けてどうするか聞きたい  
発掘調査 市の直営で行われるべきと考える  
今年度これ以上

瀬口：必要なことだけ

赤羽：必要だから言っている  
来年度もやると説明して欲しい

瀬口：根石の下 いろんな意見があった  
事務局に聞きたい

名古屋城：今後どうしていくか  
一度3月末で終了 精査する 取り組むこと  
盛り土のこと 検討  
十分検討せずにそこをやる

瀬口：N区南壁 西側石垣  
見えているわけ  
写真なり図 出すと土かどうかわかるはず  
詰めて欲しい

高橋：断面図 N区南壁 地山まで掘って根石  
8の土層 9の土層 根石の中に入っていくのか10が上がっているのか  
西側の壁を見ればわかるはず 入れるべき  
もう少しわかる  
そういう図面を作るように

瀬口：検討の中でやってほしい

10 : 38

瀬口 : 庭園部会の報告

名古屋城 伊藤 : 資料 4

資料 5

資料 6

資料 7

10 : 49

瀬口 : 質問は

高橋 : 2つ 1つは 4 ページの図 2 ページの絵図

太鼓橋 復元しないのか

名古屋城 伊藤 : 発掘で太鼓橋の基礎と思われる石が見つけた

復元したい

高橋 : 絵図は橋脚が 3 カ所 発掘は 2 カ所

遺構に習って橋脚 2 カ所でいくのか?

名古屋城 伊藤 : 仮に発掘された基礎を使えるか検討する

高橋 : 池底しっくいをどうするか

保護しながら仕上げるのか、考え方を

名古屋城 伊藤 : 側面に立派なしっくいが見つかった

南蛮塀と同様に、何でできていて、どう補強すればよいか検討する

高橋 : 新しいしっくいを重ねる予定か

名古屋城 伊藤 : まだ決めていない

どう修復するのか検討したい

高橋 : 露出もありうるということか

名古屋城 伊藤 : その通り

瀬口：他には

三浦：資料6 御練堀

H30年度 修理保存の検討 樹脂の浸透処理など

文化財修理 耐用年限の問題、新たな部材 不適切の場合除去できるか

樹脂は可逆性が保てない

耐用年限が短い 劣化する

非常に慎重に

H31年度 剥落部分 エポキシ樹脂を使うのか？

本物が残っていれば使ってはいけない

紫外線 20年で劣化 焦げ茶 粉末に 二度と取れない

尾道市 壁画 エポキシ樹脂剥落止め 劣化した

焦げ茶 破壊した

除去しようとしたが完全除去できなかった

絶対にお使いにならないように

原爆ドーム 劣化がひどい

エポキシ樹脂つかった 劣化レンガを固める→使わないように

発がん性物質 作業員 健康被害になる

絶対にお使いにならないように、試験もだめ

丸山：シリカ系を使う

三浦：それならよい

丸山：有機系は危険

かつての練り堀 復元するのか

協働で 庭園部会からたたき台を出したい

瀬口：他には

丸山：二の丸庭園が6倍に

調査体制の体制 城の整備室 整えて欲しい

3人は天守閣 庭園部会がある意味 お客さんも目立つ

どういう体制ですか再検討してほしい

庭園部会ばかり言ってもいけないが

瀬口：資料 4 3 ページ

余芳 東区に移築して持ってきた  
ないものを復元し、あるものを直さない？

名古屋城 伊藤：余芳 部材が残っている  
復原にする 部材が残っている  
すべての部材があるか確認

瀬口：土を盛る 庭園との高さの差 どう調整するのか

名古屋城 伊藤：青い線  
建物から御庭がどう見えるか  
雨 排水状況 検討する

瀬口：庭園全体の高さをどうするか

丸山：文化庁と相談 600 ミリ 300 ミリで大丈夫か  
土台を考える  
手水の赤いレンガ 高くなりすぎるとおかしくなる  
600 ミリか 400 ミリかせめぎ合い  
私自身高くはしたくはないが  
修復は可能  
飛び石 書かれているが、据え付ける意味ではない  
土地造成 園路を設けて飛び石付けるか考える  
木橋  
土地の造成

瀬口：余芳 地盤の高さを考える  
建物の高さは部材がある  
保護層の高さのこと

11 : 05

瀬口：天守閣部会の検討状況

名古屋城：資料 8

4回開催

基本構想 文化庁に提出

バリアフリー 検討中

エレベーター 中間報告

11 ページ アクセスルート

VR

ハートフルデー

ロボット・ドローン

エレベーター設置

高層木造建築物にエレベーター

4人乗り なるべく手を加えないように

3階 大梁一部切り欠く

4階 大梁切断

対応車いすが限られる

災害時 エレベーター止まる

11人乗り 名古屋市福祉指針 11人乗り以上推奨

シャフトを独立 木造建築物から1メートル以上隔離

縦穴を設ける必要 柱10本 大梁29本切る必要

どう避難させるか

外部エレベーター 現天守閣にも設置

到達階 1階までしか行けないのではないか

壁に穴を開ける 内部には影響しない

景観上影響がある

あげた人をどう下ろすか

中間報告 有識者の意見

方針は5月末策定目標

基本計画の策定

瀬口：意見は

小浜：エレベーター設置は悩ましい

部分撤去しないと設置できない

変更するのは可能なのか

名古屋城：どこまでが「史実に忠実か」定義が難しい

文化庁にも明確な基準がない

どこまで求めるのかも含めて検討していきたい

赤羽：資料の8の1 文化庁に説明に行った？事実なのか

名古屋城：これをもって文化庁に示した

赤羽：どういう形で示したのか

名古屋城：今日示したのは概要  
それぞれ記述を加えたのを持って行った

赤羽：どちらに

名古屋城：記念物課

赤羽：本日 3/30 だが、竹中との計画で、基本設計+石垣調査 今日までとなっている。  
基本設計は提供されているのでしょうか。

名古屋城：基本設計に関しましては、文化庁にお示しする内容以外のものもいろいろ含まれておりますので、そちらを報告しているわけではない

赤羽：竹中から文化庁では無く、事務所に提示されているかどうかということです。

名古屋城：基本設計につきましては、本日完了検査を行う予定です。

赤羽：防火 第三者 入場者推定 何人試算は行っているのか

名古屋城：どのような防災計画をつくるか  
今後検討する必要がある  
合わせて検討がある

赤羽：全体会議で報告頂けるのか

名古屋城：天守閣部会に諮らせて頂きたい  
天守閣部会の報告としてこちらにも報告する

瀬口：他には

三浦：バリアフリー 11人 史実に忠実と乖離

史実 利便性・安全性曲げてもよい

11人乗り部屋 最大2階の部屋 5間×4間 全国で一番巨大

天守の歴史で唯一 見せ場

そこを11人乗りエレベーター 柱も切除

見せ所がなくなる

木造復元 どこが見せ場か注意して欲しい

木造天守の中で最大の見せ場を破壊とエレベーターを考慮を

瀬口：他には

赤羽：資料 8-1 7ページ

昭和実測図

ケーソンの上にのっけるのか

名古屋城：既存ケーソンを利用してする

赤羽：史実に忠実と矛盾しない、許されると考えるのか

名古屋城：そう

赤羽：文化庁に相談したのか

名古屋城：今後相談する

小浜：大天守 仕口

耐震性 これらの仕口で可能か

新しい技術を使うのか 検討したのか

名古屋城：実物大の実験 仕口・継ぎ手の構造を把握

その部分だけで今の耐震可能か 継続的に検討

何らかの補強を入れて復元することになる

赤羽：おととい ケーソン基礎のボーリングを行う お認めになられたようだ

なんのためケーソン基礎ボーリング？

どういうように

史跡部分の破壊の可能性は？

名古屋城：ケーソンのボーリング 内部のコア

下部を確認したい

ケーソン施工 下部がわからない

天守閣部会 現天守閣の安全性を確認するためにも提案した

瀬口：私から

8の1 2ページ

戦災復興の中で市民から求められた 不燃化

木材がない コンクリートがある

安易に決めた

見かけが昔のまま

木材が不足しているのがないと時代背景 RC化はつながらない

名古屋城：説明が不足していた

11月に出した資料

修正した

11：33

瀬口：保存活用計画案

名古屋城 こうろ：保存活用計画案

今回の会議を踏まえて計画としたい

情報発信 パブコメを踏まえて一部変更

- ・全体を巡る観覧ルート

- ・子ども向けホームページ

210 ページ バリアフリー対策

211 ページ 適切なスタッフ VR

11：51

瀬口：意見を

丸山：63 ページ 二の丸庭園 国の名勝

かや 天然記念物  
図表に番号がふっていない

名古屋城：番号をふりたい

瀬口：重要文化財などはやってもらえるのか

丸山：かやは他のところでは出ない

赤羽：210 ページ バリアフリー対応 問題

戦国近世城郭 非情 情けにあらず

バリアフリー思想はなかった

不特定多数を想定していない

「史実に忠実」柔軟性を考えてはどうか

バリアフリーなら木造天守では不可能といわざるを得ない

現天守を改修して、

瀬口 現天守の意味 継承する方向でも書いてあった

現天守の意味

現天守を改修することで解決する

ないものねだりをしすぎだ 感想

話になかった

「5月7日 クローズする」テレビででている

なんのためにクローズするのか おたずねしたい

西野所長：入場禁止 耐震性が低い

どうするかずっと課題

名古屋市として天守閣木造復元の過程に伴って入場禁止にする時期を決める

石垣穴蔵部分調査

早ければ5月から

昨年段階で5/7より入場禁止方針

早めに出しておかないといろんなところに影響がある

赤羽：所長の答えは2つあると聞こえた

・耐震調査したら危ないから

・穴蔵調査をするため

後段 穴蔵調査 どういう調査をするのか、文化庁現状変更調査にあたるのでは

西野所長：あくまでも現天守閣状況が耐震性低い

どこかの段階で入場禁止にする我々の計画では早ければ5月に穴蔵調査を

具体的なものまでは決まっていない

前段の文化庁許可を得ているわけではない

その可能性があるので、そのタイミングで閉める 昨年の段階で公表し周知を

諮ってきた

大本は耐震性が低いのが理由

瀬口：途中 本題からずれた発言 今なら可能

赤羽：何のことですか？

瀬口：全体を通して意見を伺う

他には意見はないか

保存活用計画案については、これで終わり

全体を通してなにかあれば

以上で終了

整備室長 岩本：本日終わり

来年度6月8日 本丸御殿オープン

内覧会、式典

ありがとう